

■2021年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告総括表（「第2期豊岡市地方創生総合戦略 第3版」）

資料5

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている			
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている			
	指 標	基準値 (2019年)	2021年実績値	目標値 (2024年)
	人口の社会増減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別人口推計調査1～12月）	△442人	△314人	△388人

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	基準値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	目標値	2021年度事業
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	○ 豊岡公式ウェブサイト閲覧（セッション）数	831,716件 (2018年度)	2,117,345件	2,566,680件	1,340,000件 (2024年度)	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	○ 豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	118,442件 (2018年度)	144,804件	149,211件	138,000件 (2024年度)	豊岡ファンミーティング、Iターン推進（移住プロモーション）、文化と教育の先端自治体連携、関係人口の創出・拡大、コノトリ野生復帰の取り組み発信、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	○ 新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	未測定	126人	161人	865人増 (5年間)	Iターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）、高校生コミュニティ教育等支援〔重複〕
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	○ 移住組数（窓口相談等利用者）	38組 (2018年度)	74組	71組	224組増 (5年間)	Iターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）、定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	○ 豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	41.1% (2018年度)	46.4%	44.7%	60% (2024年度)	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	○ IT企業誘致件数	0件 (2019年度)	1件	1件	5件増 (5年間)	IT企業誘致推進、スマート農業推進、子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	○ 創業件数 ○ 新規就農者数（青年等就農計画の認定者）	19件 (2018年度) 2人 (2019年度)	25件 7人	19件 3人	110件増 (5年間) 17人増 (5年間)	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	○ 靴製造品出荷額 ○ 靴産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「靴縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数	104億円 (2019年調査) 122人 (2020年度)	106億円	96億円 10人	116億円 (2024年調査) 32人増 (4年間)	豊岡靴・豊岡財布技術向上支援、豊岡靴ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	○ アーティスト・クリエイター移住者数	5人 (2019年度)	16人	9人	35人増 (5年間)	多文化共生推進、子育て支援の総合拠点等整備、Iターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）〔重複〕、アーティスト・クリエイター移住等促進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	○ 女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数	0事業所 (2018年度)	11事業所	12事業所	20事業所増 (5年間)	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	○ ファミリーサポートセンター会員数	178人 (2018年度)	261人	299人	280人 (2024年度)	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支え合っている	—	—	—	—	—	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	○ 子育て中の就労促進事業による就職内定者数	22人 (2018年度)	—	2人	150人増 (5年間)	ワーキングホリデー推進、子育て中の女性の就労促進、子育てママの活躍機会促進、子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕

主要手段－具体的手段		重要業績評価指標（KPI）	基準値	2020年度実績値	2021年度実績値	目標値	2021年度事業
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	○ 移輸出額	231,268百万円 (2017年度)	公表前	公表前	233,473百万円 (2024年度)	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	○ 観光消費額（インバウンド宿泊者） ○ 豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	1,096百万円 (2017年度) 600人 (2019年度)	290百万円 624人	10百万円 0人	2,502百万円 (2024年度) 4,300人 (2024年度)	城崎温泉街交通環境改善、観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、観光データ基盤構築活用
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	○ コウノトリ育むお米輸出総量	17.2トン (2018年度)	22.2トン	18.6トン	60トン (2024年度)	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	○ アーティスト・イン・レジデンス滞在者数*累計 ○ アーティスト・クリエイター移住者数	1,066人 (2018年度) 5人 (2019年度)	1,995人 16人	2,159人 9人	1,970人 (2024年度) 35人増 (5年間)	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2021、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催、城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2021参加等）、アーティスト・イン・レジデンス、アーティスト・クリエイター移住等促進、演劇のまちづくり推進、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	○ イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	45人 (2019年度)	0人	0人	270人増 (5年間)	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合	小学生63.9% 中学生39.5% (2019年度)	小学生61.6% 中学生51.4%	小学生55.9% 中学生50.7%	小学生68.9% 中学生44.5% (2024年度)	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	○ ふるさとのひとやものに関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたことがあった児童・生徒の割合	小学生84.6% 中学生83.0% (2020年度)	—	小学生86.3% 中学生85.6%	小学生88.7% 中学生86.0% (2024年度)	ふるさと教育推進、おっとりっしゃ!とよおかのものづくり、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	○ 自分自身が関わって豊岡をよくしていこうと思う高校生の割合	未測定	35%	36%	70% (2024年度)	高校生コミュニケーション教育等支援、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	○ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合 ○ 中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	小学生83.6% 中学生78.8% (2019年度) 55.3% (2019年度)	小学生84.9% 中学生85.6% 58%	小学生82.8% 中学生80.3% 59%	小学生88.6% 中学生83.8% (2024年度) 70% (2024年度)	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	○ 婚姻数	282組 (2018年)	263組	秋公表	287組 (2024年)	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	○ 婚活イベントによる成婚数	0組 (2018年度)	1組	0組	5組増 (5年間)	民間団体への婚活イベント補助、若者独身者交流
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	○ 出会い機会創出事業による成婚数	8組 (2018年度)	10組	10組	50組増 (5年間)	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）、出会い機会創出（はーとビー）、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕、若者独身者交流〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	○ ボランティア仲人による成婚数 ○ 結婚相談所による成婚数	1組 (2018年度) 5組 (2018年度)	6組 4組	11組 3組	23組増 (5年間) 42組増 (5年間)	ボランティア仲人養成（縁結びさん）、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕、出会い機会創出（はーとビー）〔重複〕